

堤防を最大130m後退

帯広市街と音更市街が広がる十勝大橋付近一帯は、十勝地方の主要な都市機能が密集する地域である一方、川幅が上下流より極端に狭く、大きく湾曲していたため、治水上の危険箇所となっていました。このため、本地区の治水安全度を向上を目的に、引堤等の事業が計画され、洪水を流すために堤防と堤防の間を拡げることとしました。そのために音更町側の堤防を最大130m堤内側（人の住む方）に造り直しました。

また、帯広市側に河道が極端に寄っていたので、盛土と護岸工事を行って通常時に川が流れる位置を中央寄りに切り替えました。

さらに堤防間を拡げたことによって、十勝大橋の長さが足りなくなるので新しく橋を架け替えました。

この事業によってできた河川敷は、多くの市民の憩いの場として活用してもらえるよう、パークゴルフ場、ふれあい広場などの親水公園として開放されています。

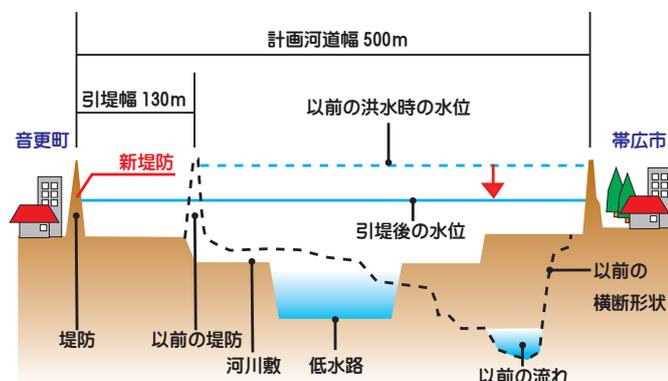
昭和60年	地元説明・用地取得 開始
昭和63年	木野地区用地5.4ha 72戸 移転完了
昭和63年10月	工事着工（木野築堤、河道掘削護岸工事に着手）
平成3年9月	十勝大橋架替工事 着手
平成3年	下土幌築堤用地3.9ha 3戸 移転完了
平成4年	下土幌築堤工事 着工
平成8年1月	十勝大橋 完成
平成8年8月	新低水路に切替、同時に右岸低水路掘削護岸工事 開始
平成8年10月	旧木野築堤 撤去
平成9年3月	旧十勝大橋 撤去完了
平成10年3月	右岸中水敷護岸 完了



事業実施中の十勝大橋付近（平成7年）



現在の十勝大橋付近（令和3年）



十勝大橋地点の引堤のイメージ図

さらに賑わい広がる河川空間

●帯広市かわまちづくり

平成30年3月に登録された「帯広市かわまちづくり計画」では、帯広市新総合体育館の整備と連携し、十勝川へのアクセス向上や河川敷整備により、健康スポーツ都市の推進や多目的に活用できる河川空間を創出することとしています。

整備内容としては、国が管理用通路整備、親水護岸整備、高水敷護岸整備等。帯広市が新総合体育館、アクセス路・交流拠点の整備等を進めます。

以前から花火大会やイカダ下り等のイベント、また野鳥観察等で親まれてきた地区ではありますが、地域住民や観光客の利便性向上、地域の観光振興の促進をひきつづき図ります。